

初恋のきた道

観賞日 2018・1・8

制 作 1999 年 中国
配 給 ソニー・ピクチャーズ・エンターテインメント
原 作 パオ・シー
脚 本 パオ・シー
監 督 チャン・イーモウ
出 演 チャン・ツーイー(若き日の母)、チャン・ハオ(若き日の父)、スン・ハウレイ(私)

【あらすじ】

父の訃報を聞いた私は母の暮らす故郷の村に戻った。母は父が亡くなった病院から村まで棺を担いで戻るといつてきかない。母が村人や私の説得に頑として耳を貸さない理由は若き日にあった「ある出来事」にあった。

今から 40 年近く前、母が 18 歳のとき貧しい村にも初めて学校ができ、町から 20 歳の若い先生が赴任してきた。母は一目でその先生が好きになり、先生のために一生懸命料理を作りもてなした。やがてその想いが先生にも伝わったが、当時吹き荒れていた反右派闘争の嫌疑で先生は突如、町に連行されていった。母は先生が好物といった料理を持って必死に先生を追いかけたが追いつけず、さらに先生からもらった大事な髪留めをも紛失してしまった。失意の母は先生が村に戻ってくると約束した日、決死の思いで「あの道」で先生を待ったが先生に会えず寒さの中で気を失った。幸い通行人に救助された母は約束を守った先生に再会、2 年後に二人は結婚した。

父の遺体は母の願い通り、教え子の協力のもと多数の村人に担がれ「あの道」を通って学校の横に埋葬された。

【解説】

この作品は、中国映画界を代表するチャン・イーモウが監督し、その後国際的スターになったチャン・ツーイーのデビュー作である。

時代は 1958 年。場所は華北の山村。現在（撮影のころ：1990 年代後半）と過去（1958 年当時）が、カラー（過去）とモノクロ（現在）で色分けされており、わかりやすい構成となっている。

日本の紅葉を思わせる華北の山村の美しい風景、心に残るサン・パオの音楽が愛らしく初々しいチャン・ツーイーの姿と相俟って、観る者の心を洗い目頭を熱くさせる名作に仕上がっている。

【参考】

チャン・イーモウ監督の「しあわせ三部作」

あの子を探して：1999 年、ベネチア国際映画賞グランプリ受賞

初恋の来た道：1999 年、ベルリン国際映画賞グランプリ受賞

至福の時：2000 年